

大学院医学系研究科医科学専攻の設置

【改組の趣旨】

医療の質を向上させ、医療現場のみならず地域社会の健康と福祉の向上に貢献し、社会において先導的な役割を担う人材を育成するため、生命現象を解明し科学的根拠を突き詰める生命科学専攻・機能再生医科学専攻と、人間を理解し健康と福祉に貢献する保健学専攻の3専攻を統合させて、地域を含む医療現場での異分野連携実践的教育を行う、新しい医科学専攻を設置する。

【現組織と改組後の組織】

【改組前(～平成31年度)】



【改組後(平成32年度～)】



【養成する人材像】 基礎医学知識を修得し、心と科学の両面を理解した高度専門職業人、教育・研究者

- ◆理念と教育目標 医科学専攻では、医療の質を向上させ、医療現場のみならず地域社会の健康と福祉の向上に貢献し、社会において先導的な役割を担う人材の養成を目指す。その理念を達成するため、以下の教育目標を実践する。
1. 心と科学の両面を理解できる基礎的知識の修得
 2. 医学的知識や研究・医療倫理の修得
 3. 分野横断的かつ俯瞰的な知識に根差した思考力の涵養
 4. 医科学の高度化に貢献できる研究力の涵養

博士前期課程

医科学専攻の理念及び教育目標のもとに、基礎医学を土台として、医学・医療に活用できる科学分野である医科学の深い学識を涵養するとともに先端研究を行うことで、医学的知識を持ち、生命科学、再生医学、保健学分野における高い専門性と倫理観を備え研究能力を有する高度専門職業人を育成。

【授与する学位: 修士(医科学)、修士(保健学)】

博士後期課程

医科学専攻の理念及び教育目標のもとに、真理の探究などの基礎医学の研究、診断・治療・予防の原理に関する基盤研究、健康維持増進の研究、トランスレーショナル医学の推進やイノベーションの創出を独立して行い、基礎医学教員や保健学教員、企業等の研究者、さらには将来の医科学関連の起業家等を育成。

【授与する学位: 博士(医科学)、博士(保健学)】

資料18

大学院医学系研究科医科学専攻の設置

【改組の趣旨】

医療の質を向上させ、医療現場のみならず地域社会の健康と福祉の向上に貢献し、社会において先導的な役割を担う人材を育成するため、生命現象を解明し科学的根拠を突き詰める生命科学専攻・機能再生医科学専攻と、人間を理解し健康と福祉に貢献する保健学専攻の3専攻を統合させて、地域を含む医療現場での異分野連携実践的教育を行う、新しい医科学専攻を設置する。

【現組織と改組後の組織】

【改組前(～平成31年度)】



【改組後(平成32年度～)】



【養成する人材像】 基礎医学知識を修得し、心と科学の両面を理解した高度専門職業人、教育・研究者

- ◆理念と教育目標 医科学専攻では、医療の質を向上させ、医療現場のみならず地域社会の健康と福祉の向上に貢献し、社会において先導的な役割を担う人材の養成を目指す。その理念を達成するため、以下の教育目標を実践する。
1. 心と科学の両面を理解できる基礎的知識の修得
 2. 医学的知識や研究・医療倫理の修得
 3. 分野横断的かつ俯瞰的な知識に根差した思考力の涵養
 4. 医科学の高度化に貢献できる研究力の涵養

博士前期課程

医科学専攻の理念及び教育目標のもとに、基礎医学を土台として、医学・医療に活用できる科学分野である医科学の深い学識を涵養するとともに先端研究を行うことで、医学的知識を持ち、生命科学、再生医学、保健学分野における高い専門性と倫理観を備え研究能力を有する高度専門職業人を育成。

【授与する学位: 修士(医科学)、修士(保健学)】

博士後期課程

医科学専攻の理念及び教育目標のもとに、真理の探究などの基礎医学の研究、診断・治療・予防の原理に関する基盤研究、健康維持増進の研究、トランスレーショナル医学の推進やイノベーションの創出を独立して行い、基礎医学教員や保健学教員、企業等の研究者、さらには将来の医科学関連の起業家等を育成。

【授与する学位: 博士(医科学)、博士(保健学)】

資料18

博士前期課程において養成する人材像に応じた履修モデル

＜製薬・医療機器関連企業での従事・開発者養成の履修モデル＞

製薬・医療機器関連企業での従事・開発者をを目指す学生は、基盤的教育科目を通じて、医学一般と医療倫理・安全を学び、分野横断的科目を通じて知財と医療統計を学び、専門家養成科目（医科学）と特別研究を通じて創薬並びに機器開発ができる高度な専門性と実践力を身につける。

科目 区分	授業科目	1 年次		2 年次		単位
		前期	後期	前期	後期	
基盤的 教育科目	基礎医科学概論	○				1
	実用的解剖学特論	○				1
	実用的生理学特論	○				1
	薬理学・薬物療法学特論	○				1
	医療倫理学特論	○				1
	医療安全学特論	○				1
	知財戦略特論 I	○				1
分野横断的 科目	知財戦略演習 I		○			1
	医療統計解析学特論		○			2
専門家 養成科目 (医科学)	医療機器開発特論		○			2
	細胞分化・老化機構学特論	○				2
	再生医工学特論		○			2
	再生医工学演習	○	○			2
	遺伝子医科学特論	○				2
特別研究	医科学特別研究	○	○	○	○	10
合計						30

＜高度臨床実践者養成（臨床検査技師：細胞検査士）の履修モデル＞

臨床検査技師資格の基盤の上に、病理検査の高度化に対応する技術を提供できる細胞検査士を目指す学生は、「基礎医科学概論」等の基盤的教育科目、「知財戦略演習 I」等の分野横断的科目の履修を通じて、基礎医科学の広い裾野の体系を学んだ上で、「病態細胞学特論」、「病態細胞学演習」等の専門家養成科目（医科学）を学ぶことにより、病理検査の高度化に対応することができる高度な専門性と実践力を身につける。

科目 区分	授業科目	1 年次		2 年次		単位
		前期	後期	前期	後期	
基盤的 教育科目	基礎医科学概論	○				1
	実用的解剖学特論	○				1
	実用的生理学特論	○				1
	薬理学・薬物療法学特論	○				1

	医療倫理学特論	○				1
	医療安全学特論	○				1
	知財戦略特論Ⅰ	○				1
分野横断的 科目	知財戦略演習Ⅰ		○			1
	医療統計解析学特論		○			2
専門家 養成科目 (医科学)	実験腫瘍病理学特論		○			2
	神経病態・遺伝子疾患学特論	○				2
	病態細胞学特論	○				2
	病態細胞学演習		○			2
	病態制御学特論	○				2
特別研究	医科学特別研究	○	○	○	○	10
合計						30

<高度臨床実践者養成（包括的地域支援実践者（在宅・介護））の履修モデル>

保健・医療の専門知識を地域支援に生かすことを目指す学生は、「基礎医科学概論」等の基盤的教育科目、「地域医療システム学特論」等の分野横断的科目の履修を通じて、基礎医科学の広い裾野の体系を学んだ上で、「生活機能看護学特論」等の専門家養成科目（保健学）を学ぶことにより、地域の保健・医療のニーズに包括的に対応することができる高度な専門性と実践力を身につける。

科目区分	授業科目	1年次		2年次		単位
		前期	後期	前期	後期	
基盤的 教育科目	基礎医科学概論	○				1
	実用的解剖学特論	○				1
	実用的生理学特論	○				1
	薬理学・薬物療法学特論	○				1
	医療倫理学特論			○		1
	医療安全学特論			○		1
	知財戦略特論Ⅰ	○				1
分野横断的 科目	地域医療システム学特論		○			1
	認知症予防学特論	○				2
専門家 養成科目 (保健学)	生活機能看護学特論	○				2
	高齢者看護学特論	○				2
	高齢者看護学演習		○			2
	統合支援看護学特論		○			2
	統合支援看護学演習		○			2
特別研究	保健学特別研究	○	○	○	○	10
合計						30